

◆ 4 使用した和歌及び現代語訳◆

■恋ひ恋ひて(こいこいて) <現代語訳>

1. 大伴坂上郎女(4-667)

恋ひ恋ひて 恋ひ恋ひて (こいこいて こいこいて)

逢ひたるものを (あいたるものを)

月しあれば (つきしあれば)

夜は隠るらむ (よわこもるらむ)

しまし しましはあり待て (しまし しましわありまで)

<現代語訳>

恋して恋して

やっとお逢いできたものを

月が出ているので

まだ夜は深いわ

もうちょっとだけこのままでいてくださいな

2. 大伴坂上郎女(1-527)

来むと言ふも (こむというも)

来ぬ時あるを (こぬときあるを)

来じと言ふを (こじというを)

来むとは待たじ (こむとわまたじ)

来じと言ふものを (こじというものを)

<現代語訳>

あなたは来ると言っても

来ない時があるのに

来ないだろうと言っているのだから

来るかと思って 待ちはしません

来られないと言っているのですから

3. 大伴坂上郎女(4-661)

恋ひ恋ひて 恋ひ恋ひて (こいこいて こいこいて)

逢へる時だに (あえるときだに)

愛しき (うつくしき)

言尽くしてよ (ことつくしてよ)

長く 長くと思はば (ながく ながくとおもわば)

<現代語訳>

恋して恋して

やっと逢えた時くらいは

愛らしい言葉を

ありったけ言ってくださいね

私といつまでもとお思いでしたら